

# 取扱説明書



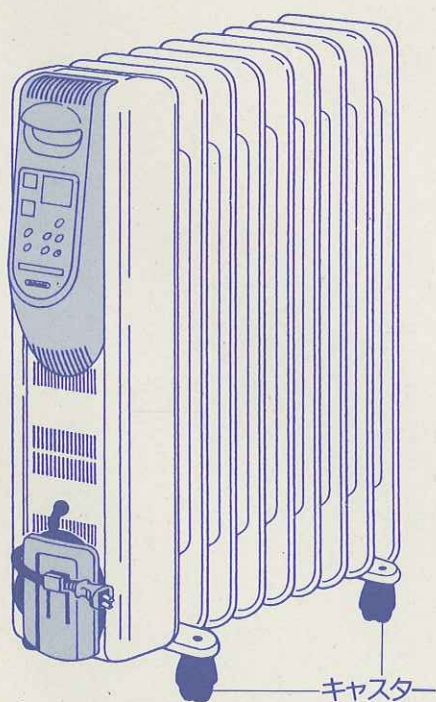
Mod.

# W390912SD

9枚フィン:くるみ仕様

1200W

マイコンタイマー付



★キャスターの取付け方(6頁)をお読みのうえ、  
キャスターをヒーター下部に取り付けてください。

このたびは、デロンギヒーターをお買上げいただき  
まして、まことにありがとうございました。  
お求めの製品を正しく安全にお使いいただくため、  
ご使用前に、必ず取扱説明書をお読みください。  
また、お読みの後は、保証書と共に大切に保管して  
ください。

## も く じ

|                    |      |
|--------------------|------|
| ・安全上のご注意           | 1～5  |
| ・知っておいていただきたいこと    | 5    |
| ・各部の名称とはたらき        | 6    |
| ・操作パネル(各部の名称とはたらき) | 7    |
| ・時刻の合わせかた          | 8    |
| ・オート運転のしかた         | 9～10 |
| ・オート運転の上手な使い方、ご注意  | 11   |
| ・マニュアル運転のしかた       | 12   |
| ・お手入れ/保管のしかた       | 13   |
| ・真心点検について          |      |
| ・これは故障ではありません      | 14   |
| ・アフターサービス          |      |
| ・仕様                | 裏面   |



# 【安全上のご注意 必ずお守りください】

- ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。
- ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
- 注意事項は、誤った取扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「危険」「警告」「注意」の三つに区分し、明示しています。



## 危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、「人が死亡または重症を負う差し迫った危険の発生が想定される内容」を示しています。



## 警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、「人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容」を示しています。



## 注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、「人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- 各注意事項には、「注意」「禁止」「強制または指示」を促す絵表示(記号)が付いています。



：発火注意



：感電注意



：高温注意



：禁止行為



：分解禁止



：強制または指示



：差込みプラグをコンセントから抜く

### 電源について



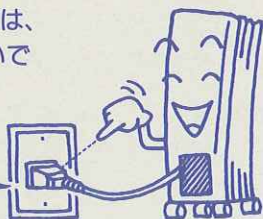
## 警告

- 電源は、一般家庭用100V/50・60Hzをご使用ください。
- 電源は、「15A 125V」と記されている壁面のコンセントから直接おとりください。

ヒーターの差込みプラグは、コンセントに直接つないでください。



15A 125V



- ヒーターは、単独でご使用ください。
- 二口コンセントの場合は、片方の差込み口を空けたままでご使用ください。

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱し、発火することがあります。



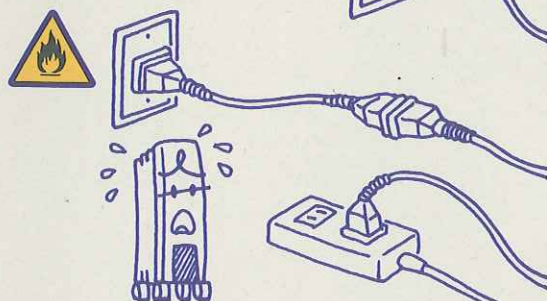


## 電源について

## 警告

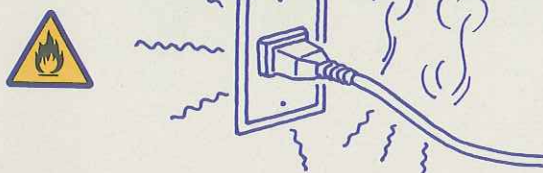
- 延長コード、テーブルタップ、ソケットなどは、絶対に使用しないでください。

コンセントや電源コードが発熱し、発火することがあります。



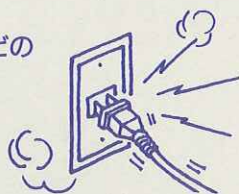
- 運転中、差し込みプラグ／電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止してください。

ショートや発火する恐れがありますので、弊社サービスセンター（14P参照）までご相談ください。



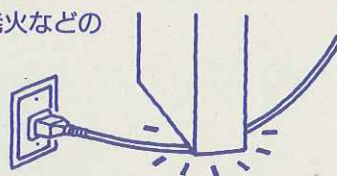
- 差し込みプラグは、根元までしっかりと差し込んでください。また、差し込み口のゆるいコンセントは、使用しないでください。

感電、ショート、発火などの原因になります。



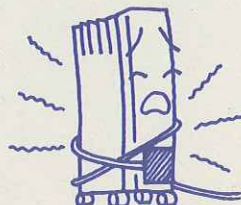
- 差し込みプラグ／電源コードは、傷付いたり、無理に曲げたり、重たい物をのせないでください。

感電、ショート、発火などの原因になります。



- 運転中は、電源コードがラジエーター（放熱板）に触れないようにしてください。

熱で電源コードが傷み、ショートや感電などの原因になります。

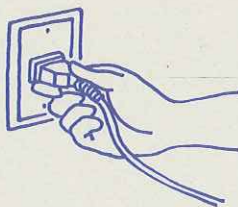


## 電源について

## 注意

- 電源コードをコンセントから抜く際は、必ず差し込みプラグを持って抜いてください。

電源コードを持って無理に引っ張ると、破損し、感電やショート、発火などの原因になります。



- 濡れた手で、差し込みプラグの抜き差しをしないでください。

感電の恐れがあります。



- 運転の際、電源コードはコードホルダーから解いてください。

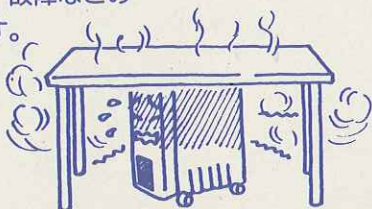


## 設置場所について

## 警告

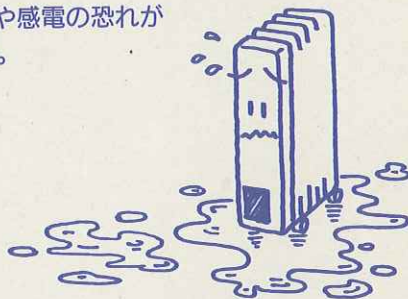
- テーブルや机の下での使用は、お止めください。

ヒーターの上部をふさぐと対流ができず高温になり、火災やヤケド、故障などの原因になります。



- 水や湿気の多い場所での使用は、お止めください。

ショートや感電の恐れがあります。

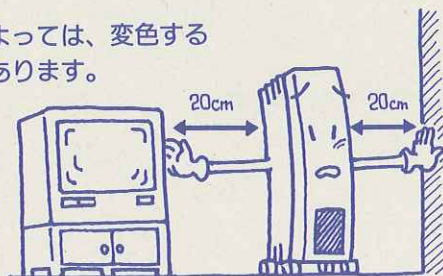


## 設置場所について

## 注意

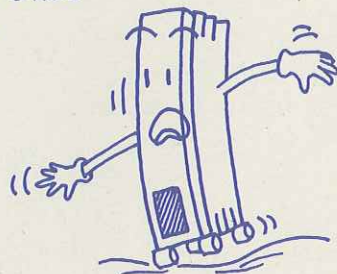
- 壁や家具からは、20cm以上離してください。

材質によっては、変色する場合があります。



- 平らなところ(床)に置いてください。

倒れると、ケガや事故の恐れがあります。



## 使用する上で

## 危険

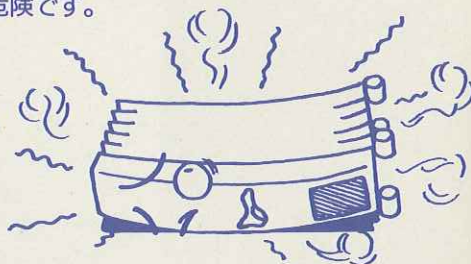
- キャスターは、必ずヒーター本体の下部に取り付けてください。

誤って上部に取り付け使用すると、火災や故障などの恐れがあり、危険です。



- 横倒しでの使用は、絶対にお止めください。

火災や故障などの恐れがあり、危険です。





使用する上で —

## 警告

- ふとんや毛布、濡れたもの(洗濯物)などをかけないでください。

過熱により、火災や故障などの恐れがあります。



- 犬や猫など、ペットの暖房用に使用しないでください。

ペットが本体や差し込みプラグ/電源コードなどを傷め、火災などの原因になります。



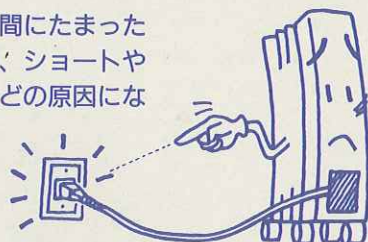
- 絶対に分解したり、修理/改造はお止めください。

発火や故障などの原因になります。



- 長期使用しない場合は、必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

コンセントの間にたまったゴミや結露が、ショートや漏電、発火などの原因になります。



使用する上で —

## 注意

- ヒーターの移動は、冷えてから行なってください。



- ラジエーターのスキ間や格子部に異物を入れないでください。

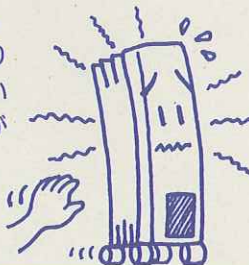


運転中は —

## 警告

- 運転中および停止直後は、ラジエーター(放熱板)に触れないでください。

ラジエーターの表面温度は、最高で約80~90℃になりますので、長い間触れていると、ヤケドをする恐れがあります。



- 本体および操作パネルに、水やジュースなどをこぼさないでください。

万一こぼした場合は、ショートや感電などの恐れがありますので、直ちに使用を中止して、弊社サービスセンター(14P参照)までご相談ください。



- 万一、異常が生じた場合は、直ちに電力スイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜き、使用を中止します。



異常な状態で使用を続けると、事故や故障につながります。必ず弊社サービスセンター(14P参照)までご連絡ください。



運転中は —

## ⚠ 注意

- 小さなお子様がいるときは、必ず付き添ってください。



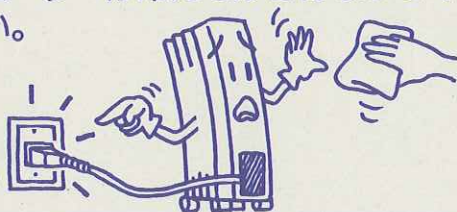
- ブレーカー(分電盤内の配線遮断器)が落ちる場合は、電力会社にご相談ください。



お手入れ、  
保管について

## ⚠ 警告

- 必ず差込みプラグをコンセントから抜き、ヒーターが冷えてから行なってください。



## ⚠ 注意

- 洗剤やクレンザー、シンナー、金たわしなどは使用しないでください。



## 知っておいていただきたいこと

**A** (アンペア)

定格電流に  
ついて —

お求めのヒーターの定格電流は12A(アンペア)です。ご家庭内の他の(使用中の)電気器具のそれとの合計値が、契約電力(電気料金の請求書/基本契約欄に00Aと記載)を超えていないか — ご確認ください。

ちなみに、定格電流の算出方法は、下記の通りです。

$$\text{定格電流 (A)} = \frac{\text{消費電力 (W)}}{100 (= \text{電圧 V})}$$



ブレーカーに  
ついて —

ブレーカー(分電盤内にある配線遮断器)は、その回路で電気を使い過ぎた時や、何らかの原因で瞬時に大電流が流れた時に、自動的に電気を断ち、その回路を守ります。

契約電力が不足している場合や、足りていても、その回路の容量を超え複数の電気器具を使用すれば、ブレーカーが働き(=落ち)ます。

※契約電力が不足している場合は、電力会社に増量を依頼してください。

電気代(目安)に  
ついて —

暖房する部屋の条件(建材や位置など)により異なりますが、おおよそ右記の通りです。

( '96年度調べ )

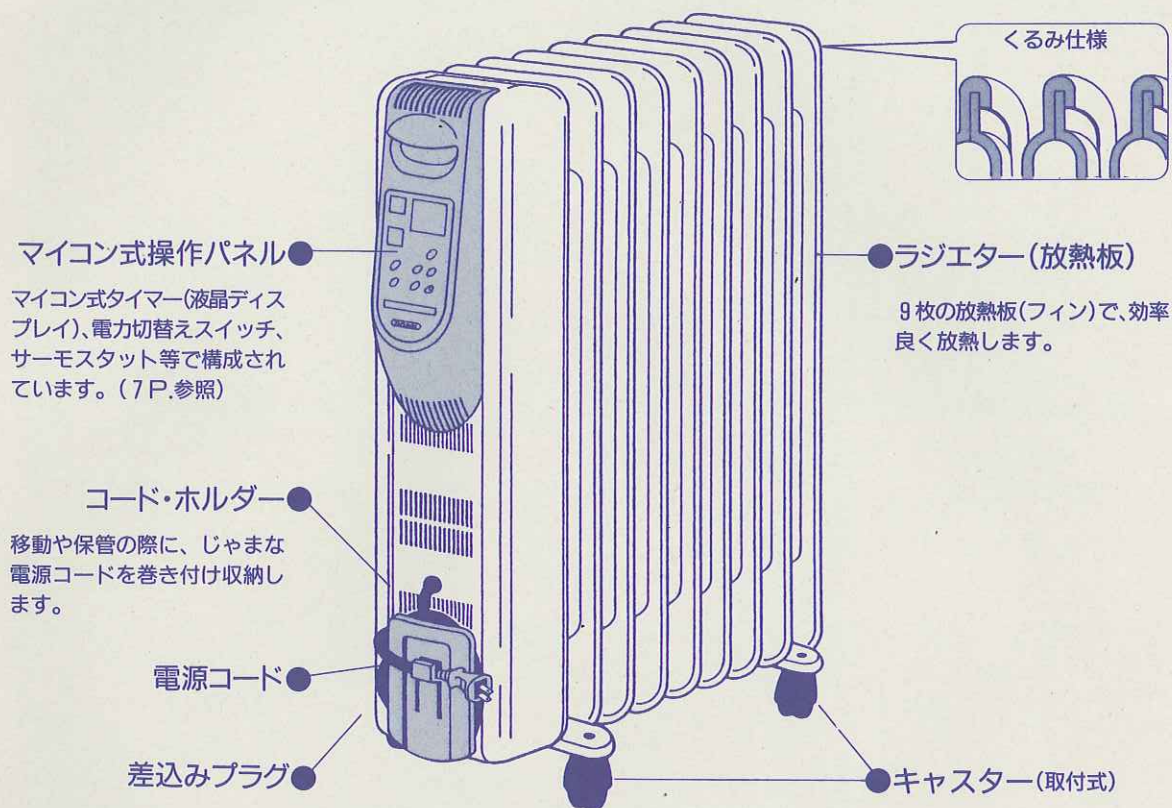
スイッチを入れてから  
30分〜1時間  
(電力は最大に設定)

約 29 円/時間

室温が適温に達した後  
サーモスタットで調節  
(ヒーター稼働率 60%)

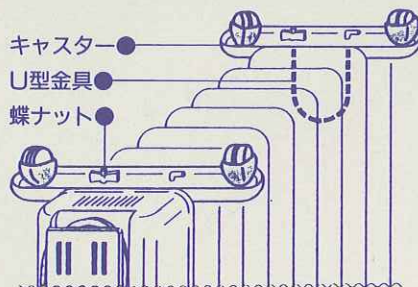
約 17 円/時間

# 各部の名称とはたらき



## キャスターの取付け方

付属のキャスター(2組)を、U型金具と蝶ナット(各2)で、本体下部の両端にしっかりと固定します。  
取り付けは、本体を仰向けに行ないます。



※この図は、本体を仰向けにした状態です。

### ⚠危険

誤って本体の上部に取付け使用すると、火災や故障などの恐れがあり危険です。  
ご注意ください。



# 操作パネル／各部の名称とはたらき

## 各種モード

モード・ボタンを押すことにより、液晶ディスプレイの左端に◀で表示されます。

## 液晶ディスプレイ/マイコンタイマー

モード・ボタンおよび時刻セット・ボタンを押すことにより各モード、時刻が表示されます。タイマーは、オート運転の際はもちろん、単に“時計”としてもご利用いただけます。

## 電力切替えスイッチ

2つのスイッチで、消費電力を弱/500W、中/700W、強/1,200Wの3段階に調節できます。スイッチ下部を押し込むとON(通電)になります。

## モード・ボタン

液晶ディスプレイに表示される時刻および各モードの選択/切替えを行ないます。

## プログラム・ボタン

事前に設定したプログラムを起動したり停止したりするための押しボタンです。

## サーモスタット・スライダー

室内温度を自動調節、適温の設定に使用します。右にスライドするにしたがって温度が高くなります。暖房開始時は、スライダーを「高」の位置(右端)にセットしてください。



## 運転切替えボタン

プログラムによるオート(自動)運転か、そのつど、電力切替えスイッチの入/切で暖房を行なうマニュアル(手動)運転かを選択するものです。

※オート運転から始める場合は、このボタンを押す必要はありません。

## 時、分ボタン

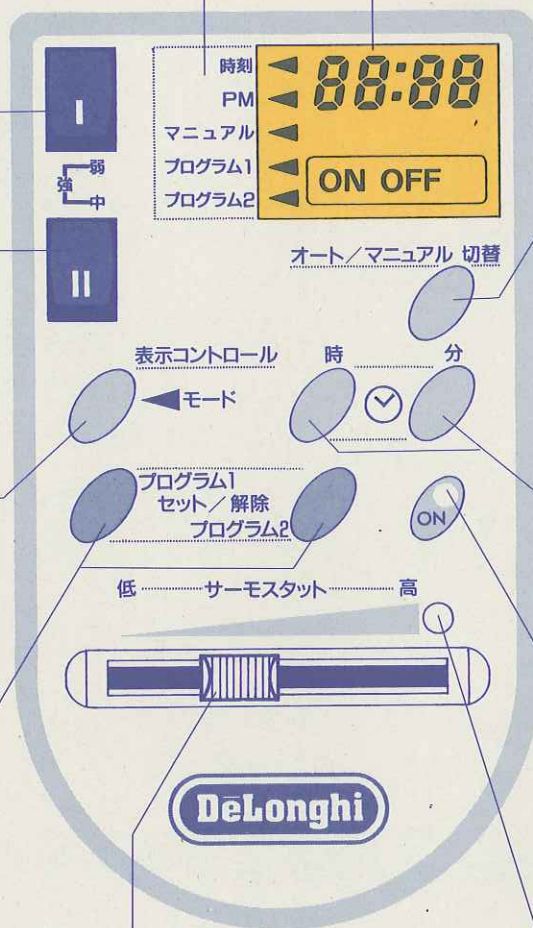
時刻合せおよびオート運転(プログラム1、2)の時間枠を設定する際に使用します。

## パイロット・ランプ

プログラムをセットした時およびマニュアルモードで、電力切替えスイッチを入れると点灯します。

## サーモスタット・ランプ

サーモスタットの入/切を表示します。





# 時刻の合わせかた

時計機能を利用する場合およびオート運転を行なうためには、時刻合せが必要です。

## 操作手順

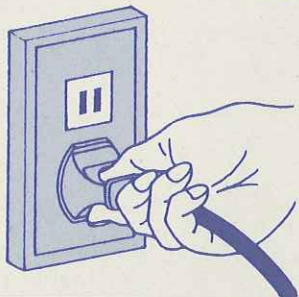
## 画面の変化

## ご 注 意

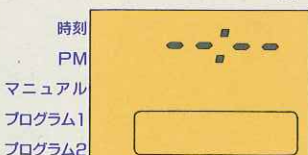
電源の接続

差込みプラグを  
コンセントに入れます。

1



電源を入ると、上図の表示が現れ、  
約5秒で下図に変わります。



●90秒以内に次の操作が必要です。

このタイマーの操作受付時間は90秒間です。モード・ボタンを押してから90秒以内に次の操作をしなかった場合や、「時」のみをセットして「分」をセットしないで放置すると、ディスプレイ表示が自動的に★図に戻ります。このときは、操作手順2からやり直してください。

●エラー表示について

手順を誤り、指示されていないボタンを押したときなどに表示されます。このときは、モード・ボタンを押すか差込みプラグをコンセントから抜き、最初からやり直してください。

時刻モードを選択

モード・ボタンを1回  
押します。

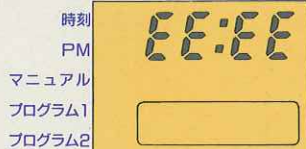
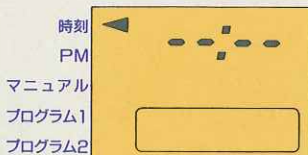
2



表示コントロール

モード

◀印が「時刻」モードを指します。



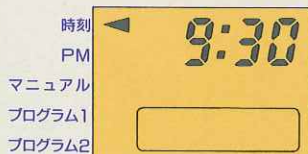
時刻のセット

時、分ボタンを  
必要な回数押します。

3



[例]午前9時30分の場合



※午後の場合は右参照

時計表示にする

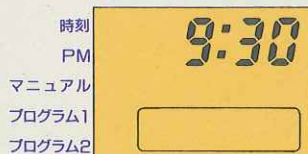
モード・ボタンを5回  
押します。

4



表示コントロール

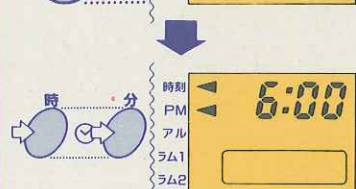
モード



画面の◀印が消え、時計表示になります。

午後の時刻をセットする場合

時ボタンで0~12を一巡させ、◀印が「PM」モードを指してから時、分ボタンを必要回数押します。



「午後6時」のセット例

以上で「時刻合せ」は完了です。



# オート運転のしかた

マイコンタイマーで、1日に2回のオート運転(プログラムによる自動暖房)ができます。

[例：午前5時から午前10時まで、1回暖房する場合]

## 操作手順

## 画面の変化

1

### 時刻合せ

(済んでいれば不要)

前頁の要領で、現在時刻を  
セットします。

8ページ参照

時刻

PM

9:30

マニュアル

プログラム1

プログラム2

現在時刻 午前9時30分(仮定)

2

### モードを押し、プログラム1に

モード・ボタンを2回押し、◀印  
をプログラム1の位置にします。

(枠内にONが表示されます)

表示コントロール

モード

時刻

PM

--:--

マニュアル

プログラム1

プログラム2

ON

3

### 開始時刻のセット

時、分ボタンを押し、「午前  
5時」をセットします。



時刻

PM

5:00

マニュアル

プログラム1

プログラム2

ON

4

### モードを押し

モード・ボタンを1回押すと、  
開始時刻が確定します。

(OFF表示)

表示コントロール

モード

時刻

PM

--:--

マニュアル

プログラム1

プログラム2

OFF

5

### 停止時刻のセット

時、分ボタンを押し、「午前  
10時」をセットします。



時刻

PM

10:00

マニュアル

プログラム1

プログラム2

OFF

プログラム2もセットする場合は次頁を参照。



## 6 運転時間の登録

モードボタンを3回押します。

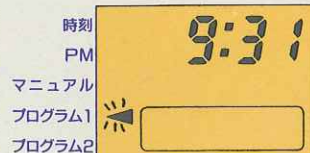
(時刻表示になり、運転時間が確定)



## 7 プログラム1のセット

プログラム1のボタンを押します。

(◀印がプログラム1を指し、点滅)

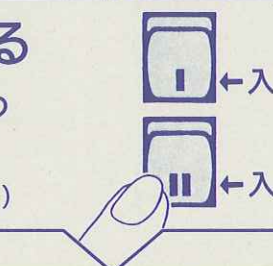


以下、画面は変わりません。

## 8 電力スイッチを入れる

電力切替えスイッチを2つとも入れます。

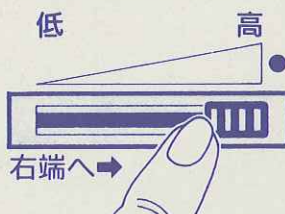
(あらかじめスイッチを入れておく)



現在時刻がプログラム時間内なので、すぐに運転が始まります。オート運転時はあらかじめ電力スイッチを入れておかないと開始時刻がきても運転されません。

## 9 サーモスタットを「高」に

サーモスタット・スライダーを右端に動かします。



サーモスタット・スライダーが低側にあると、暖房の開始時刻がきても運転されません。あらかじめ「高」の位置にセットしてください。

以上、オート運転のための操作は完了です。

### プログラム2もセットする場合

- ① 操作手順5のあとに、モード・ボタンを1回押し、「プログラム2」モードにする
- ② 時、分ボタンで、開始時刻をセット
- ③ モード・ボタンを1回押す
- ④ 時、分ボタンで、停止時刻をセット
- ⑤ モード・ボタンを1回押す
- ⑥ プログラム2のボタンを押す
- ⑦ 電力切替えスイッチを2つとも入れる
- ⑧ サーモスタットを「高」にセット  
——操作完了

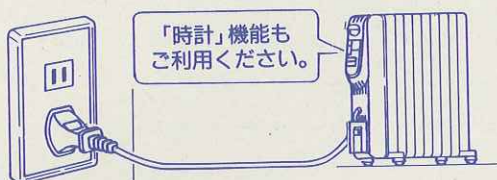
## 適温の設定方法

お望みの室温になったら、サーモスタット・スライダーを低側へゆっくり動かし、サーモスタットランプが消えた位置で止めます。これで「適温」がセットされ、あとはサーモスタットがヒーターのON/OFFを自動制御し、適温を保ちます。室温を上げたいときは、スライダーを右へ、下げたいときは左へスライドさせます。





# オート運転の上手な使い方、ご注意



差し込みプラグをコンセントから抜くと、時計機能は解除されます。オート運転および時計表示のため、差し込みプラグはコンセントに接続したままにしておくと便利です。ただし、ご不在などで長期間使用しない場合は、必ず差し込みプラグを抜いてください。

## オート運転を途中で停止するには

1. プログラム・ボタンを1回押してください。

「プログラム」モードを指していた◀印が消え、運転が停止します。

2. 電力切替えスイッチを両方とも「切」ってください。

ただし、次回のプログラムをスタートさせる場合は、事前にスイッチを「入」れておいてください。



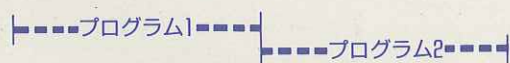
## プログラム設定上のご注意

2つのプログラムの作動時間がダブったり、つながったりすると、プログラムはセットできません。

(ダブった場合)

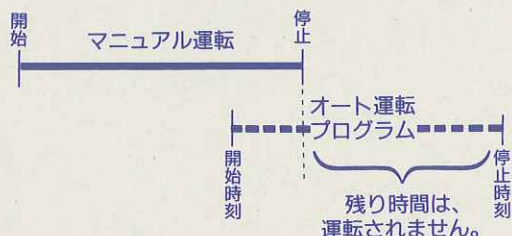


(つながった場合)



## オート運転とマニュアル運転を併用するときのご注意

- マニュアル運転がオート運転の時間枠に食い込んだ場合は——プログラムの残り時間は運転されません。(ただし、翌日はプログラム通り運転されます。)



プログラムの残り時間を運転したいときは、プログラム・ボタンを2回押し、再セットしてください。

- マニュアル運転への切り替え方

運転切替えボタンを押します。既に、オート運転の際、サーモスタート、電力切替えスイッチ等はセット済なので、◀印が「マニュアル」モードを指し点滅、すぐに運転が始まります。このとき、サーモスタート・ランプが点灯します。

- オート運転への切り替え方

運転切替えボタンを押します。「マニュアル」モードを指していた◀印が、所定の「プログラム」モードを指します。





# マニュアル(手動)運転のしかた

—— タイマーによらず、そのつど暖房するときの操作方法 ——

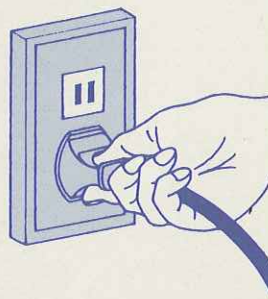
## 操作手順

## 画面の変化

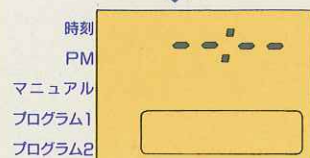
### 1 電源の接続

差込みプラグを  
コンセントに入れます。

※既に電源が入られ、時計として  
使用している場合、およびプログ  
ラムセット中の表示は図(※1,2)  
と異なりますが、以下の操作から  
同様に行なえます。



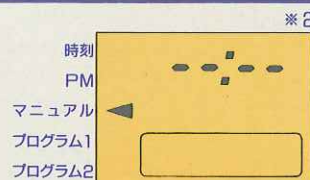
約5秒後に ↓ 下図になる



### 2 運転の切り替え

運転切替えボタンを押し、◀印を  
マニュアルの位置にします。

オート/マニュアル 切替



### 3 電力スイッチを入れる

電力切替えスイッチを2つ  
とも入れます。

(画面の◀印が点滅します)



以下、画面は変わりません。

### 4 サーモスタットを「高」に

サーモスタット・スライダーを  
右端に動かします。

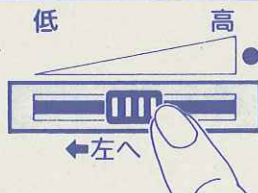
(サーモスタット・ランプが点灯し、運転開始)



室温によっては、サーモスタット  
スライダーが低の側にあると  
運転されません。運転当初は、  
高の位置にします。

### 5 適温の設定

お望みの室温になったら、サーモスタット  
スライダーを低側にゆっくり移動し、



サーモスタット・ランプが消  
えた位置で止めます。あとは、  
サーモスタットが自動的にON  
/OFFして適温を保ちます。

☞ 運転を停止するときには、電力切替えスイッチを切り、差込みプラグをコンセントから抜きます。



# お手入れ／保管のしかた



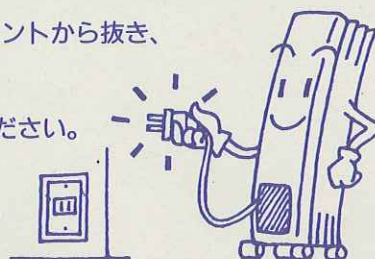
お手入れおよび保管をするときは、必ず差込みプラグをコンセントから抜き、ヒーターが冷えてから行なってください。



洗剤やクレンザー、シンナー、金たわし等は、使用しないでください。

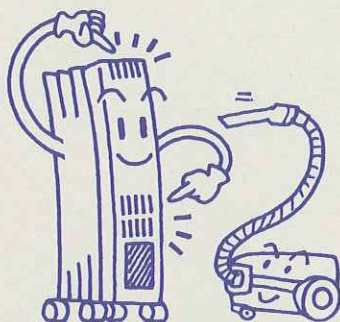


保管の際は、横倒しにしたり、上に物を乗せないでください。

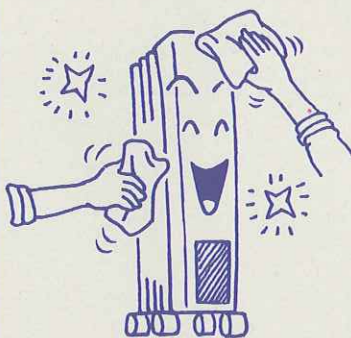


●お手入れは、定期的に行なってください。

●操作パネル内のゴミやホコリは、掃除機を使って吸い取るか吹き出してください。



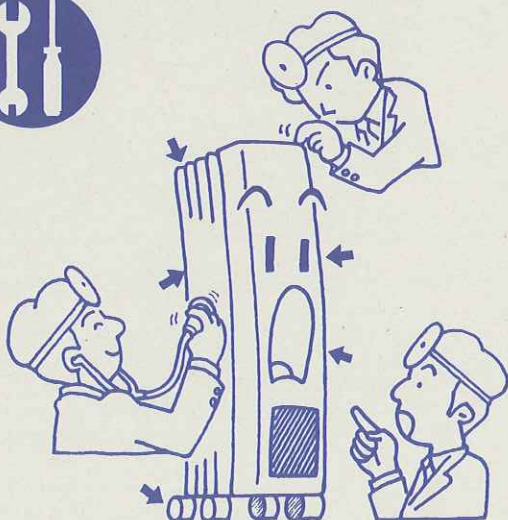
●本体は、乾いた軟らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、布にお湯を含ませ、かたく絞ってからふいてください。



●しまう場合は、商品パッケージに入れるかカバーをしてホコリを防ぎ、乾燥した場所に保管してください。



## 真心点検について



### 長年ご使用の —— デロンギ ヒーターの点検を!!

お買い上げから2～3年ほど経過しましたら、現在、支障があるなしに関わらず、これからも安全にご使用いただくために、専門技術者による点検(持込)をおすすめします。

点検の依頼方法および費用につきましては、お求めの販売店か弊社サービスセンター(右頁参照)までお問い合わせください。



# これは故障ではありません

## 異臭がする

ヒーターを初めてご使用になる時に、異臭がする場合があります。これは、ラジエターの塗装面が熱になじむまでのことで、機能や安全性には問題はありません。

## パチッパチッと音がする

スイッチを入れると、しばらく天ぷらを揚げるような音がする場合があります。これは、外気との温度差により、ラジエター内部に結露が生じ、熱くなったオイルに落ちたときのものです。異常ではありません。

## アフターサービス

- 使用中に異常が生じたときは、直ちに電力スイッチを切り、差込みプラグをコンセントから抜き、お求めになった販売店か弊社サービスセンター(下記参照)にご相談ください。
- 万一故障した場合は、保証書に記載されている販売店に①お求めの時期②製品名称と型式番号③故障の状況を連絡のうえ、修理を依頼してください。
- 宅配便などを利用して弊社に返送される場合は、必ず故障の状況を記したメモを商品パッケージに同封くださるようお願いいたします。
- ご転居、ご贈答、その他保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の点があれば、お求めの販売店か下記までお問い合わせください。

### お問い合わせは——サービスセンターまで

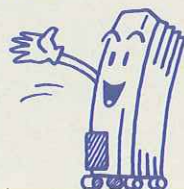
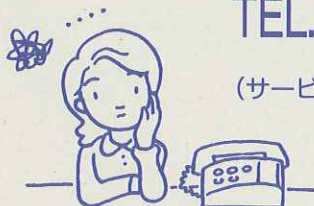
東 京：〒140 東京都品川区北品川1-3-9

TEL.03-5463-9814/FAX.03-5463-9919

大 阪：〒541 大阪府中央区備後町3-3-15 ニュー備後町ビル

TEL.06-263-7469/FAX.06-263-7489

(サービス受付時間▶ 土、日、祝日を除く毎日9:30~18:00)



# 仕 様

|               |                             |
|---------------|-----------------------------|
| 製 品 名 称       | デロンギヒーター マイコンタイマー付          |
| 型 式 番 号       | W390912SD                   |
| 適用畳数／放熱板の数    | 3～8畳／9枚                     |
| 電 圧 ／ 周 波 数   | AC-100 V／50・60 Hz           |
| 消 費 電 力       | 500・700・1200 W              |
| 外 形 寸 法 ／ 重 さ | 幅 22×長さ 54×高さ 64 cm／16.0 kg |
| タ イ マ ー       | 液晶ディスプレイ マイコン式タイマー          |
| 安 全 装 置       | 転倒時 自動電源遮断装置                |
| 電 源 コードの長さ    | 2 m                         |
| 付 属 品         | キャスター×2、U型金具×2、蝶ナット×2       |

※外形寸法および重さは、キャスターを取り付けた状態の数値です。



Printed on Recycled Paper

再生紙を使用しています。

製造者: **DeLonghi** デロンギ・ジャパン株式会社

本 社: 〒101 東京都千代田区鍛冶町1-5-6 第3大東ビル TEL.03-5256-6321(代)  
大阪支店: 〒541 大阪市中央区備後町3-3-15 ニュー備後町ビル5F TEL.06-263-6116(代)

販売者:  日本生活協同組合連合会

「くらしと生協」カタログセンター

〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-1-13 TEL.0120-39-7557